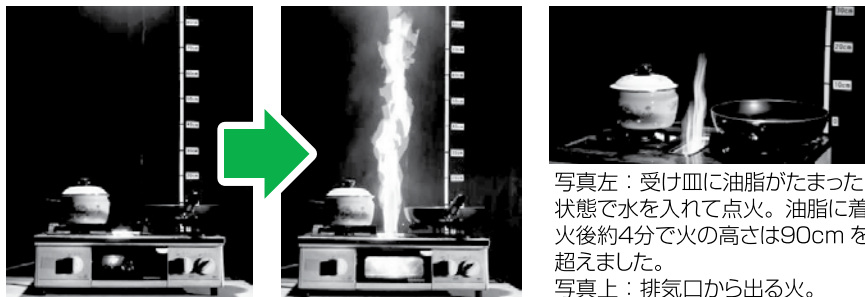


ガスこんろのグリル火災にご注意!!

製品安全センターの調査によると、ガスこんろのグリルの誤った取扱いや不注意により火災が多数発生していると報告されました。

焼き魚等でガスこんろグリルを使用しておられると思いますが、火災予防のために取扱いには十分ご注意ください。



写真左：受け皿に油脂がたまった状態で水を入れて点火。油脂に着火後約4分で火の高さは90cmを超えました。
写真上：排気口から出る火。

事故防止のために

- ◆調理中はその場を離れない。
- ◆グリル使用後は受け皿を必ず洗う。(たまった魚の油脂などの汚れに引火して発火することがあります。)
- ◆ガスこんろの使用後は、消火していることを確認する。(特にグリルの炎は見えにくいので、注意が必要です。)
- ◆受け皿に水が必要なグリルは、必ず水を入れる。
- ◆ガスコンロ付近にカセットこんろやスプレー缶、ふきんなどの可燃物を置かない。

がんばれ!!消防団

7月18日(日)「第35回雲南地区消防団操法大会」が斐伊川河川敷操法訓練場にて、また、8月1日(日)には、「第54回島根県消防操法大会」が中海ふれあい公園(安来市)において開催されます。

各消防団では昼夜を問わず、^{まとい}纏獲得を目指し訓練に励んでおられます。みなさんのご声援よろしくお願いします。



出場チーム

ポンプ車の部

雲南市消防団吉田方面隊田井分団
奥出雲町消防団亀高分団

小型ポンプの部

雲南市消防団大東方面隊海潮分団
雲南市消防団加茂方面隊加茂北分団
雲南市消防団三刀屋方面隊鍋山分団
奥出雲町消防団鳥上分団
飯南町消防団第13分団

火災予防ポスターコンクール募集

- 募集要項**
 - 火災予防に関して普及啓発が図れるもので、本人が撮影、作成したオリジナル作品とし、一人、一点の応募とする。
- 応募作品**
 - 大きさは、日本工業規格A3以内とし、縦長とする。
 - 写真、イラスト、図画など、ポスターの種類は問わない。
 - 作品の裏に住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、被写体の人物名などを明記する。
 - 今年度全国統一防火標語「消したかな」あなたを守る 合言葉 を入れることを考慮する。
- 募集期間**
 - 平成22年9月1日(水)から9月30日(木)まで(郵送可)
- 応募先**
 - 雲南消防本部 予防課(〒699-1311 雲南市木次町里方1100-6)

その他

- 最優秀作品一点は、平成22年秋季火災予防広報用ポスターとして管内各戸、各事業所に配布し火災予防広報活動に使用します。
- ご不明な点がございましたら、予防課 Tel.40-0139 までお問い合わせ下さい。



平成21年最優秀作品

「防火クラブ・自主防災組織会長会議」開催

雲南防火委員会では、5月23日(日)財団法人日本防火協会共催の「防火クラブ・自主防災組織会長会議」を297人の参加を得て開催しました。

会議では住宅用火災警報器の説明、展示を行い、住宅用火災警報器の設置推進を図り、併せて、消防職員と腹話術人形「きゅうちゃん」による広報活動も実施しました。

会議に先立ち、島根大学名誉教授・出雲科学館名誉館長 曾我部 國久氏に「生活の中から学ぶ防災教育」と題し、実験を交えながら、生活の中に潜む危険因子の実態、排除方法等についてご説明いただき、災害時にパニック状態に陥らないために、日頃から危険物の特性を理解し、「この世で絶対安全はない」という意識を持って生活することの重要性についてご講演いただきました。

この講演会を契機に、当本部管内の防火クラブの皆様にも更に積極的な活動を展開していただき、防火・防災の輪を広げて頂きたいと思います。

また、日頃の積極的な活動が認められ、7防火クラブが平成22年度優良防火クラブ表彰を受賞されました。



曾我部 國久氏 講演の様子



優良防火クラブ表彰受賞者の皆さん

新市下自治会防火クラブ(雲南市木次町)
須賀自治会防火クラブ(雲南市大東町)
米町自治会防火クラブ(雲南市加茂町)
宮畑自治会防火クラブ(雲南市三刀屋町)
上山自治会防火クラブ(雲南市吉田町)
女良木自治会防火クラブ(仁多郡奥出雲町)
頓原地区婦人防火クラブ(飯石郡飯南町)

防火クラブ紹介



宮畑自治会防火クラブ
(三刀屋町)
会長 名原 光義

私達の宮畑自治会防火クラブは、三刀屋町中野地区の、小さな自治会の防火クラブです。

平成15年に、中野公民館を通じて、雲南消防本部からのお勧めにより結成いたしました。結成当時は18戸でしたが、現在は15戸と少なくなりました。活動内容としては、春の花見時や、秋の農作業が終わった頃の、出来るだけ大勢の会員に参加していただける時季に、雲南消防本部より担当の職員さんをお招きして防火座談会等を開催しています。防火座談会では、管内における火災の状況や注意点の指導、消火器の取扱いについての実技指導などを受けています。また、ダミー人形を使っの救急法実技講習会も開催しています。住宅用火災警報器は、比較的早く全戸に設置できたように思っています。なお、春と秋の火災予防運動期間中には、防火のぼり旗を目に付き易い場所に掲揚して、防火活動の啓発に努めています。

この度の雲南防火委員会会長表彰を機に、今後も更にお互い声を掛け合いながら「住みよい里づくり」を合言葉に活動を進めてまいりたいと思います。

